



Inés Cuella

文●宇戸 裕紀

texto por HIRONORI UTO

——歌手として影響を受けてきた人を教えてください。

イネス・クエージョ（以下I・C） 間違いない、詩人で音楽家、脚本家、作詞家のマリア・エレナ・ワルシュです。幼い頃から彼女の歌を聴いて音楽に満ちた想像力を養ってきました。今でも小さい頃に彼女の歌を聴いていた頃のイメージが浮かび上がってきて彼女の才能と彼女が私に与えた大きな影響を再認識することがあります。全員を挙げる事はできませんがタンゴではカルロス・ガルデル、アグスティン・マгалデイ、アルベルト・カステイジョ、ルベン・ファレス、マリア・グラニヤ、フォルクローレではアタウアルパ・ユパンキ、メルセデス・ソーサ、ジャズではエラ・フィッツジェラルドといった歌手、彼らの技術や演奏を例として学んできました。

2017年1月に来日するセステート・オラシオ・ロモに歌手として華を添えるイネス・クエージョ。日本のタンゴファンには22歳でデビューアルバムながらファビオ・ハーゲル・セステートを伴って録音を果たした『スエーニョ・デ・タンゴ（2011年）』が記憶に新しいところであろう。エスキーナ・オメロ・マンシ、タンゴ・ボルターニョといったブエノスアイレスの看板タンゴハウスでキャリアを積んでおり、キャリア10年の節目となる2016年には若干27歳にしてギター伴奏のデュオアルバム『カンシオネス・デル・スール』がアルゼンチン音楽の最高峰ガルデル賞最優秀女性タンゴアーティスト部門にノミネートされ、その名が一気に国際的にも知れ渡った。先月のオラシオ・ロモへのインタビューに引き続き来日前インタビューを行った。



——タンゴとの出会いは？他の音楽を聴いていた事もあるのでしょうか。

IC 最初にタンゴを歌ったのは幼稚園を卒業した5歳のころで、「想いの届く日」を歌いました。その後13歳で師となるホルヘ・モナコと出会い、ブラガド市で歌とギターのレッスンを受けた。その頃から今日まで歌をやめたことはありません。タンゴの他には全てのジャンルの音楽を聴くのが好きです。どれも聴覚を鋭くし、こころを満たしてくれます。

——非常に人間味が溢れて温かい声ですがその秘訣は何でしょうか？

IC 素晴らしい描写をありがとうございます。この声を見守って、誤った方向に陥らないようにヴォーカルという自分の持つ楽器をよく知りつくすということしか秘訣はありません。この声を保つことが第一義ですが舞台上に立てばすべてを忘れて音楽が私の中を通して自由に表現してもらうように心がけています。

——デュオで歌っているアグステイナ・クエージョは妹ですか？

IC そうです！アグステイナは三姉妹の一番下の妹です。才能あふれるアーティストで、私が今まで聴いた中で最も甘美な声を持っています。一緒に歌うこともあって、姉妹でライブをすることが2017年の目標の一つです。

——まだ27歳で10年間というキャリアでは信じられないほどの経験を歌手として積まれていますね。

IC 28歳の誕生日を日本のツアー中に迎えます。今年でブエノスアイレスのタンゴハウスでデビューしてからプロとしての活動が10年目を迎えます。この10年間をす



ギターのラモン・マスキオ (左) と

スした自由な雰囲気も感じられます。このデュオを選んだ理由とこのCDのコンセプトを教えてください。

IC 外国人観光客向けの大きいショーで歌うのに慣れてきたこともありましたが、このデュオは人生が与えてくれた素晴らしいチャンスだと感じています。ラモンマスキオとの出会いは魔術的で、気がついたら知らないギタリストと歌っていて、同じ言葉を話し、同じ空気を吸い、演奏する曲について何度も対話を重ねることができました。今まで話した事もなかった人との間では信じられないほど音楽について同じ感覚を持っていることがわかり、デュオとして友情を深めていきました。『Canciones del Sur』は2人が抱いていた特別な感情を表したもので、私たちに影響を与えてくれた音楽家へのオマージュの意味も含まれています。ガルド賞へのノミネートは2016年5月と6月のスペインとポルトガルへのCD発売

記念ツアー中に知り、大きな喜びを与えてくれました。多くのプロジェクトを2人で抱えていて、この音楽が与えてくれた友情を楽しみたいと思っています。

——デュオやキンテート、セステート、オルケスタ・ティピカなど様々な編成で歌われていますが、小編成や大編成のそれぞれの魅力を歌手の立場から教えてもらえますか？歌い方も異なってくるのでしょうか？

IC どの編成にも魅力があります。デュオはミュージシャンと歌手の対話ができますし、フラセオ（くずし）の掛け合いがあったり、微妙なニュアンスで遊んだり、どちらかの色彩を出したり、混ざり合ったり、もちろん即興の余地も大いにあります。もっと大きな編成、キンテートやセステートの場合、音楽的バックアップが複雑で強くなるので、ある程度の秩序が必要になってきます。歌手も組織の一員としてなんらかの形を求められますし、フラセオやアレンジ、

——デュオアルバムとなった『Canciones del Sur』がガルド賞にノミネートされました。2人の親密さを語るような感動的な作品で、家で歌っているようなリラックス

べてを費やしてきた仕事で、観客との対話に際しては大きな責任を持つて取り組んできました。10年間ほとんど毎日歌うという機会を頂いて毎日世界中の人に自分がやってきたものをお見せしてきました。予想もしなかった困難もありましたがそれを乗り越えていくという訓練は素晴らしい経験になっています。この機会を与えてくれた音楽家、ダンサー、指揮者といった素晴らしいアーティスト達に感謝の想いがあります。







楽器編成に左右されることもあります。歌手はグループの楽器の一つとしてみなされるようになり、オラシオ・ロモ・セステートの場合特にその一体感是非常に楽しいものです。

——セステート・オラシオ・ロモとの日本ツアーにどのような感情を持っていますか？セステートの特徴を教えてくださいか？

IC このセステートと歌うことは何かの賞を頂いたようなものです。ずっとほしかったプレゼントをもらった少女のような感じです。この幻想と気持ちを持ってツアーに挑みたいと思います。長年セステート・オラシオ・ロモのメンバーと仕事をしてきましたが間違いなく、ブエノスアイレス



のタンゴシーンの代表と言える豪華さでかつ若く、経験あふれるミュージシャン達で、どの曲を聴いても彼らだとわかるフレーズばかりです。

——このセステートとのレパートリーで思い入れのある曲はありますか？

IC ピッタルガとルビンステインの「Cautivo」という曲に特別な感情を持っていますし、この曲で素晴らしい歌唱を見せてくれているマリア・グラニャを敬愛しています。マリアを通してこの曲を知り、録音時のそのままのアレンジでセステートのメンバーと私も歌ってきました。また、チャルロとオメロ・マンシの「Fueye」も歌う予定です。今まで歌った事はありませんでしたが、フランシスコ・フィオレンティーナ、ロベルト・ゴジエネチに歌われてきました。自分のキャリアの中で初めてのことですし、タンゴに深い愛情を抱き、理解を示してくれる日本という場所でお披露目できる素晴らしいチャンスだと思います。



Inés Cuello & Ramón Maschio  
『Canciones del Sur』



Inés Cuello  
『Sueño de juventud』